

大腸癌研究会プロジェクト  
『pT1 大腸癌のリンパ節転移の国際共同研究』

- 研究 1 (日米共同) pT1 大腸癌における「内視鏡摘除後の追加治療の適応基準 (大腸癌治療ガイドライン)」の検証とリンパ節転移リスク算出 tool の作成  
研究 2 (日英共同) pT1 大腸癌のリンパ節転移のリスク因子に関する研究 (Formula One Study)

## 第6回会議議事録

2019 年 1 月 24 日

京都テルサ 東館 2F 中会議室

### ■出席者【50 音順】

- 委員長 防衛医科大学校外科：上野 秀樹
- プロジェクトアドバイザー 兼国際共同研究の研究責任者：杉原 健一 (欠席)
- 委員：秋元直彦、味岡洋一 (代:杉野英明)、池松弘朗、石黒めぐみ、上野雅資(欠席)、浦岡俊夫、應田義雄(欠席)、岡志郎 (代:山下賢)、奥山隆(欠席)、勝又健次、金光幸秀(代:塚本俊輔)、河内洋、桑井寿雄(代:田丸弓弦)、小嶋基寛、小林 望(欠席)、小林宏寿、小森康司(代:大内晶)、斎藤彰一、齋藤裕輔 (欠席)、斎藤豊(代:山田真善)、坂本一博、島崎英幸(欠席)、菅井有、関根茂樹、高松学、田中信治 (代:山下賢)、鶴田修 (代:徳安秀紀)、富樫一智 (欠席)、内藤剛、永田信二、中村好宏(欠席)、野澤宏彰(代:佐々木和人)、藤盛孝博(欠席)、堀田欣一、松下弘雄、松田健司、山田一隆 (代:佐伯泰慎)、山田真善、山野泰穂、梶原由規 (事務局)、オブザーバー 19 名

### ■会議内容

#### 1. 研究 1 (Nomogram study) の進捗状況の報告

##### (1) 症例集積状況

27 施設から 6662 例の集積を完了し、現時点でデータ欠損等がない解析可能症例が 4966 例であることが報告された。性別等の追加調査が可能な項目について若干のデータのブラッシュアップを加えることとなった。

##### (2) 中間解析

集積したデータに関する中間解析が報告された。委員から占居部位別、治療方法別、地域 (施設) 別の差異についての解析を加えることが提案された。また、病理標本作成に施設間格差があることから、参加施設における検体作成方法についての追加調査を検討することとなった。

#### 2. 研究 2 (F1 study) の進捗状況の報告

##### (1) 進捗状況

英国における IRB 承認等の手続により全体症例の評価の開始に時間を要していることから、集積された症例うち 50 例 (本邦 25 例、英国 25 例) についての interobserver study を先行して開始することを英国と合意したことが報告された。また、英国側の病理評価案を追加記載した病理学的評価基準の最終案が完成したことが報告された。

##### (2) 病理学的評価者

本邦および英国ともに双方 7 名の病理医で評価を行う予定であることから、病理系委員が所属している 7 施設で各 1 名ずつの病理医による評価を行うことが確認された。